



今年も一年大変お世話になりました。

除夜の鐘 ご案内

光陰矢の如し、本年も残りわずかとなりました。
紅葉の終わった庭にサザンカがけなげに咲いています。
寒さもひとしお、皆様お変わりありませんか。

今年一年振り返ってみると、
6月に大阪で震度6弱の地震が起こり、翌月には西日本豪雨、
大勢の方が亡くなりました
夏には全国で記録的な猛暑に見舞われなんと40度を超す日もありました。

また東京築地市場は83年の歴史に幕を閉じ
国民的スター安室奈美恵の引退、福原愛選手の引退、
貴乃花親方退職と時代の移り変わりを感じる
寂しいニュースもありました。



お隣では、南北首脳の会談で金正恩氏が初めて訪韓、
米朝首脳が史上初の会談を行い、
歴史的な進展がありました。

「植物が育ち、花が咲き、実をつけた後、自分の実を落として本体の木を守る」
そんな「減んで守る」という意味のある成年の一年
皆様、どんな一年を過ごされましたか？
師走を迎え、それぞれ振り返りながらご家族やお友達と
分かち合っていらっしゃることと思います。

12月31日(月) 23時45分より
除夜の鐘



仏様、ご先祖様のおかげで
無事どうか2018年を終えられることに
手を合わせて感謝いたします。
「平成」の時代に後ろ髪引かれつつ、
今年の締めくくりに、そして新しい年の幕開けに
どうぞお気軽に鐘をついて本堂へお参りください。
皆様 夜道くれぐれもお気をつけ下さい。

～ 新しい年を迎えて ～
修正会

1月1・2・3日(10:00~11:00)

年のはじめに、大きな声で気持ち良くお経をお唱えして
ご一緒に一年間の無事をお祈りします。
3日間、大般若経の転読を行いますので
ご都合のよい日にお出かけください。



今年も皆様に大変お世話になりました。
来年も良い一年でありますよう
お祈り申し上げます。



大智寺だより

平成30年師走
Vol.102

発行所
大智寺

岐阜市山県北野
668-1
電話:058-229-1532

《Mail》

hybsr245@ybb.ne.jp

《ホームページ》

大智寺

検索

<http://www.daichi-ji.com>

当紙は、大智寺本堂及び墓地
の水小屋にてご自由にお取り
いただけます。
又、当寺ホームページにて
過去のすべての紙面をご覧いた
だけます。ご活用ください。

11月号発行部数
200部

ご愛読
ありがとうございます

1月15日(火) ^{だいはんにゃえ} 大般若会
禅寺の新年祈禱法要

10:00～法要・11:00～うどん接待・13:00～お焚き上げ

新年の五穀豊穡や無病息災、家内安全などを願って皆様に御配りする「大般若札」のご祈禱をします。

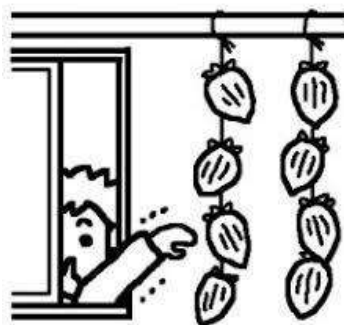
この「大般若札」は、檀家様以外でもご希望される方に授与いたします。ご自宅の玄関先に貼っていただければと思います。

ご祈禱にご参加いただいた方には、お昼にアツアツのおうどんを差し上げます。13:00からは、役目を終えたお正月飾りやお塔婆類、お札やお守り、白木位牌を大智寺山門前にてお焚き上げします。どうぞどなた様もお気軽にご参加ください。



大玄関の衝立(ついたて)

お寺の大玄関には、明治時代に大智寺の住職をされた承天(じょうてん)和尚様の描かれたゾウさんの衝立があります。法要の際や、お参りの際に何気なく目にされておられることと思います。特にお子様には人気があって、承天和尚様も喜んでいらっしゃるのではとかねがね微笑ましく思っておりました。最近その衝立も寿命を迎え、とうとう再起不可能となってしまいました。



先月も檀家様より「あのゾウさんはどこへいったの?」と尋ねられること、しばしば・・・現在、岐阜掛軸様のもとで修繕中です。来年には、元気に戻ってきて欲しいものです。

～ 他家の法要に出る機会の少ない奥様のため 若い世代のために ～
(実際にお寺にご相談いただいたものから抜粋)



お寺のこと、仏壇のこと、法要のこと etc
わからないこと 質問帳 ④



「足が痛くてなかなかお寺まで行けんけど、家でお経の練習をしたいんやて。どのお経を練習したらいいんやろ。」

大智寺檀信徒日課經典という薄水色の冊子を各ご家庭で日々お役立ていただいていることと思います。

その中には、臨済宗の主なお経が入っています。

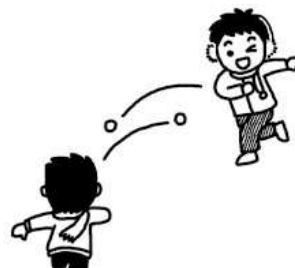
第一に般若心経は大般若経 600 巻のエッセンスが詰まっております。日々唱えられるにはぴったりです。



また、妙法蓮華経観世音菩薩普門品偈は、經典中の王といわれ、もっとも尊いと言われる「法華経」の中の抜粋です。このお経は観音様が三十三に身を変えて人々を苦境苦難から救って下さると説いているお経です。

また、大悲呪は千手千眼観音菩薩の大悲心を説いております。他にも和讃は口語訳されたお経なのでわかりやすいのではと思います。

それぞれ味わい深いお経なので、少しづつ読経していただければと思います。





日常を豊かに『発菩提心空拳章（通称：菩提和讃）』

お経のやさしい和訳（和讃）から
毎日の生活を 心豊かに

大智寺檀信徒日課經典
31ページより

50

「慈悲仁讓になりぬれば 男も女も諸共に」

小学校に立って、子ども達の模範として今も活躍中の二宮尊徳像。
あの銅像は誰しも見たことがあると思いますが、
銅像が手にしている本には、しっかりと文字が彫られているそうです。
その本に掘られているのが、次の儒教の經典『大学』の一節です。

一家仁なれば一国仁に興り、一家讓なれば一国讓に興り、
一人貪戾（たんれい）なれば 一国乱を作（な）す。その機かくのごとし。
一人が思いやりを持って接していけば、おのずと思いやりあふれる国となり
一人が譲り合う姿を見せていけば、おのずと国全体に譲り合う精神が広がる。

『大学』のこの一節には君主たるべき姿が説かれています。
子ども達にもこんな心を持ってほしいという願いが、あの二宮像には込められているのかもしれませんが、
子どもの頃は気にすることもなかった二宮像の本ですが、
大人になった今、もう一度この志を改めて深く心に刻みたいものです。
慈悲仁讓のまごころは、一人ひとりの心を越えて広がっていきます。

今月のひょうじ

にぎやかにせわしなく過ぎていく年の瀬を迎えました。今年一年を振り返って家族やお友達とよもやま話を繰り広げることも多くなります。年の暮にいつも心に思う若き禅僧のエピソードがあります。

ある2人の修行中の禅僧が川まで歩いてきました。行き先はこの川の先です。普段なら歩いて渡れる川ですが、雨が降った後で少し水かさが増しています。そばに困った顔つきで着物の裾をたくし上げ川を渡ろうとしている女がいます。それを見た禅僧の一人が「私が抱いて川を渡りましょう」と女を抱きかかえ、向こう岸まで歩いていきました。そして礼を言う女を残してささと先へ行ってしまいました。心穏やかでないもう一人の禅僧は「修行中の禅僧たる者が女を抱くなんて」と相手をとがめます。すると女を抱いた禅僧は、驚いた顔をしてすぐに笑い出しました。「俺はとっくに女を置いてきたぞ、お前はまだあの女を抱いているのか」

365日様々な出来事があり、人に出会い物に出会い、そしてすべては過ぎ去っていきます。個々にこだわることなく「これも置いてきた、あれもとっくに置いてきた」と次の瞬間には生まれたての「もとのその一」に戻っている生き方を「行雲流水」と言います。来年も、とどまることなく心の大旅行を続けつつ、瞬時に「仏心」という安らかな自宅に帰れる、そんな「どこでもドア」を大切にしていきたいものです。

～ シリーズ いますぐできる精進の味 ～

♪ お寺のぶきっちゃんでも簡単に作れた ヘルシーなお味 ♪

トロトロかぶの豆乳スープ

- ① 大きなかぶ一個をひと口大に切り、人参や玉ねぎも1cm角くらいに切る。
- ② 鍋にまずバターを入れて玉ねぎが透き通るまで炒める。
- ③ かぶと人参、水400ccを加えて野菜が柔らかくなるまで煮る。
- ④ 豆乳200ccとコンソメを入れて温まったら塩こしょうで調え出来上がり。

肌寒い朝が続きます。口の中でやわらかくとろけるかぶのスープです。
小麦粉を使わないのでとろみはありませんが、さらりと飲めるスープです。
豆乳は調整豆乳を使うとくせがありません。



♪ 月に一度はお寺まいり ♪

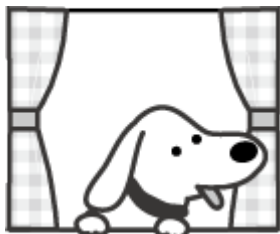
初心者 大歓迎
東日本大震災物故者追善供養
毎月 第四日曜日
定例写経会

今月の日程

12月23日(日) 一回 500円
(朝8時~9時) (内300円は義援金)
要申込

10月写経会 備忘録

気候のせいかわ黄色のモミジの色付きが悪い年となりました。赤のモミジは色づいているのに不思議です。今回は落語「桃太郎」を楽しみ、智慧の心について考えてみました。稲葉神社かくの松花堂さんのお菓子「紫野」で一服しました。そういえば写経会後に、飛び入りで写経希望の方が2名いらっしゃいましたよ。(笑)



お釈迦様が生きていた頃
あんな人、こんな人



第二十一話 「絶世の美女 スパーさん」

名医シーバカさんのマンゴー林に向かって一人の尼僧さんが歩いてきました。絶世の美女、スパーさんでした。

森の入り口で、突然浅黒い身体の方が躍り出て両手を広げました。「何事ですか」驚いたスパーさんは声をあげました。青年は無言です。「あなたは私の行く手をさえぎっています。わたしはあなたに何か過ちを犯したのでしょうか」男は両手を広げたまま無言で近づいてきます。「私がお釈迦様の教えで、まったく清らかな境地にいるのです」とスパーさんが言うと、「あなたは美しくて若い。尼さんになってなんの良いことがありますか。薄汚い黄衣なぞすぐに捨てて、楽しく遊びましょう。」男はスパーさんを口説き始めました。「カーシー産の優雅な服を差し上げましょう。花飾りや香り高い香水も差し上げましょう。あなたみたいに美しい人が尼さんで生涯を終えるのは惜しい。さあ、一緒に帰りましょう」
「あなたは本当の私を見ていませんね。やがて息絶え、朽ちていく私の本質をみていませんね」「たとえあなたが遠くへさっても澄み切ったあなたの黒い瞳を私は追いつけるでしょう」困ったスパーさんは凛として眼の片方を自分の手でえぐり出し男に差し出しました。「これで私を追いつけなくても私の瞳をそばに置いておけるでしょう」男は驚いて腰を抜かし、土下座して無礼を詫言いました。森に帰ったスパーさんは、お釈迦様に事の次第を報告しました。その途端、お釈迦様の功德によって眼は元通りになったそうです。

ご自宅で お寺で 市営斎場で 営む
家族葬

ご家族・ご親族のみの家族葬をお考えの場合、ご自宅や市営斎場を会場に営むことができます。

また大智寺を会場にお使い頂くこともできますが、その場合、指定の葬儀社をお寺でご案内致します。必ず前もってご相談ください。

家族葬をご検討される場合は、葬儀社のこと、葬儀会場のことなど含めてまずはお寺までご相談ください。

完全個別永代供養墓

1区画：38万円～
(墓石代金含む)

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りする方がいなくても、お寺がご供養させて頂くお墓です。

大智寺の永代供養墓は、ご夫婦・ご家族一緒にひとつのお墓にお眠りいただけるタイプです。永代にわたり、他の方のお骨と混じらないことから「完全個別永代供養墓」といいます。詳しくは、ご見学を含めてご説明しますので、ご予約の上 ご来山ください。